

券売情報

観覧料(税込)

前売券	一般	2,100円
	大学生	1,100円
	高校生	700円
当日券	一般	2,300円
	大学生	1,300円
	高校生	900円

\*中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に生徒手帳、障がい者手帳等をご提示ください。\*本展は事前予約不要です。混雑時はお待ちいただく可能性がございます。\*本展チケットで、当日に限り、東博コレクション展(平常展)もご覧いただけます。\*その他詳細は、展覧会公式サイトをご確認ください。

一般前売券、スペシャルチケット販売期間

1月20日(火) 10:00 ~ 4月13日(月) 23:59

販売場所

●東京国立博物館 正門チケット売り場

●ART PASS ●アソビュー! ●美術展ナビチケットアプリ

●ローソンチケット ●セブンチケット ●e+ (イープラス) ●チケットぴあ

●CNプレイガイド ●電子チケット「スマチケ」

\*販売場所によって取り扱いチケットが異なります。

スペシャルチケット

特別展「百万石! 加賀前田家」×  
「刀剣乱舞ONLINE」  
オリジナルクリアファイル 付きチケット

front

© EXNOA LLC/NITRO+

back

※画像はイメージです

加賀前田家ゆかりの「旧前田家本邸 洋館」(東京・駒場)を背景に「刀剣乱舞ONLINE」の刀剣男士「大典太光世」、「前田藤四郎」、「富田江」3振が並ぶ本展限定デザインのクリアファイル付きチケットです。

料 金: 2,700円(税込)  
販売場所: ART PASS (数量限定・先着)  
販売期間: 1月20日10:00より販売。なくなり次第終了

加賀前田家・黄金甲冑 マスコット付きチケット

※画像はイメージです

加賀前田家初代・利家所用の黄金の甲冑「重要文化財 金小札白糸素懸威胴丸具足」を身にまとったマスコットキーホルダー付きのスペシャルチケットです。

料 金: 5,500円(税込)  
販売場所: ART PASS (数量限定・先着)  
販売期間: 1月20日10:00より販売。なくなり次第終了  
サ イ ズ: 約 H160mm × W90mm

音声ガイド付きチケット

本展のチケットと音声ガイド(会場レンタル版)がセットになった、通常より50円お得なチケットです。

料 金: 2,750円(税込)  
販売場所: ART PASS  
販売期間: 1月20日 10:00 ~ 4月13日 23:59

※グッズ付きチケットが完売してもチケットに付属するグッズ(クリアファイル、黄金甲冑マスコット)は単体で会場内特設ショップにて販売いたします。ただし在庫数に限りがあるため品切れとなる場合があります。

開催概要

前田育徳会創立百周年記念 特別展「百万石! 加賀前田家」  
Commemorating the 100th Anniversary of the Maeda Ikutokukai Foundation  
The Maeda: Legacy of a Prosperous Samurai Family

会 期: 2026年4月14日(火) ~ 6月7日(日)  
休 館 日: 月曜日(ただし、4月27日、5月4日は開館)  
開館時間: 午前9時30分 ~ 午後5時  
※入館は閉館の30分前まで  
※毎週金・土曜日および5月3日(日) ~ 5日(火)は午後8時まで開館  
会 場: 東京国立博物館 平成館(上野公園)  
主 催: 東京国立博物館、公益財団法人前田育徳会、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社  
特別協力: 文化庁  
協 力: 内田洋行、TOPPANクロレ

公式サイト: <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/kagamaedake2026/>  
公式X/Instagram: @kagamaedake2026

お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル) ※ご案内時間 午前9時 ~ 午後8時 / 年中無休

※入館方法、観覧料等の情報は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。  
※展示作品、会期、展示期間、開館時間、休館日等については、今後諸事情により変更する場合があります。

TNM 東京国立博物館 平成館  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9  
東京国立博物館 ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

■JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分  
■東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、東京メトロ千代田線 根津駅、京成電鉄 京成上野駅より徒歩15分

前田育徳会創立百周年記念  
特別展 プレスリリース

加賀前田家  
百万石!

重要文化財 大名物 唐物茄子茶入 銘 富士 南宋時代・13世紀 前田育徳会蔵

国宝 太刀 銘 光世作 名物大典太 平安時代・12世紀 前田育徳会蔵

重要文化財 金小札白糸素懸威胴丸具足 前田利家所用 安土桃山時代・16世紀 前田育徳会蔵

シロクマ フランソワ・ボンボン作 フランス・1930年 前田育徳会蔵

重要文化財 百工比翼 第六号箱第十九抽斗 花籠釘隠 江戸時代・17 ~ 18世紀 前田育徳会蔵

驚異の大コレクション 60年ぶりに一挙公開

日本真をやりぬる TSUMUGU 紡ぐプロジェクト

本展の収益の一部は、「紡ぐプロジェクト」における文化財の修理事業に充てられます。

2026.4/14(火) ~ 6/7(日)

TNM 東京国立博物館 平成館  
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

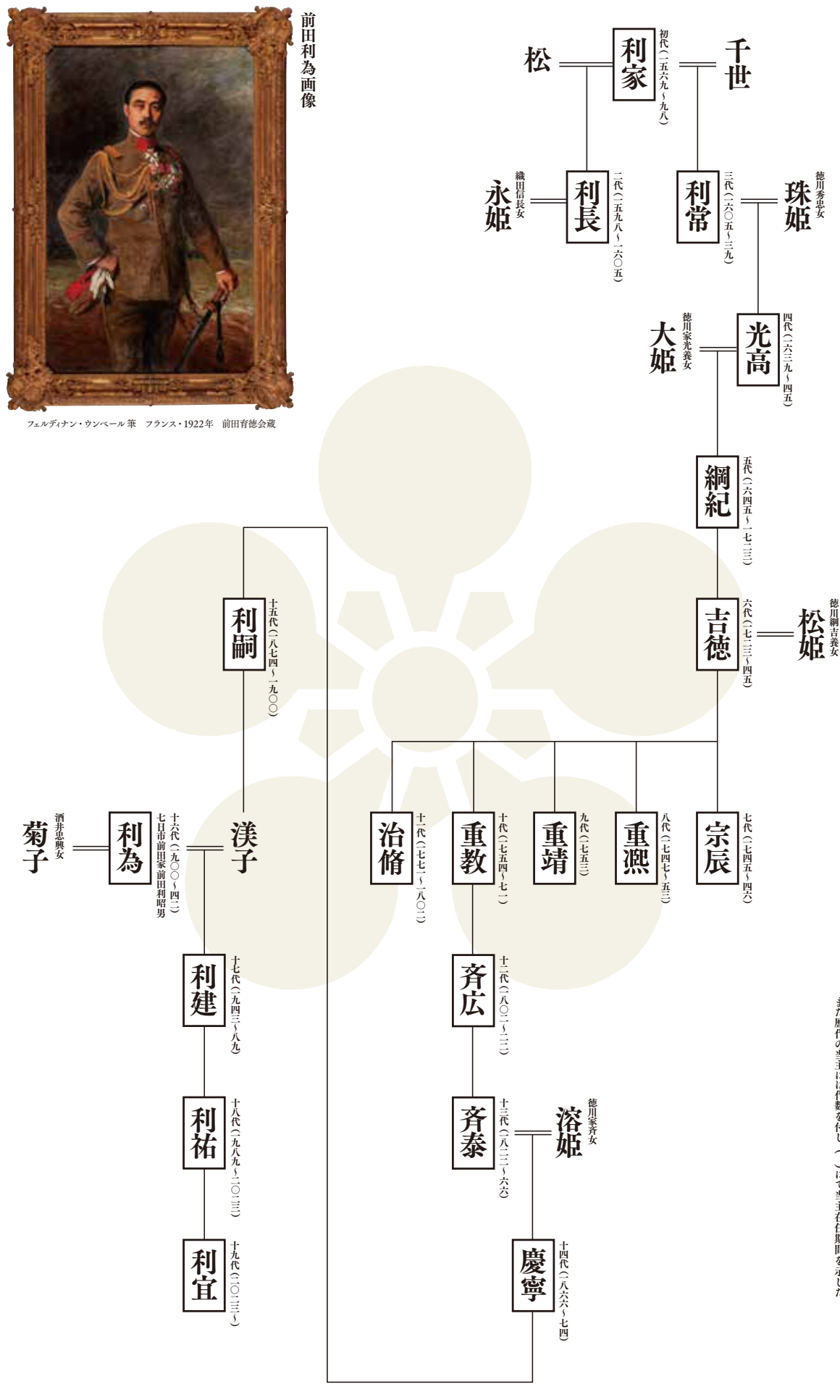
報道関係お問合せ

特別展「百万石! 加賀前田家」広報事務局(共同PR内) 担当: 三井 千104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階

TEL: 03-6264-2382 FAX: 0120-653-545  
E-mail: kagamaedake2026-pr@kyodo-pr.co.jp



# 加賀前田家系図



※人名の表記は「加賀藩史料 編年」に依拠し、大名・将軍家の皇女名には「姫」を付した。  
また、歴代の当主には代数を付し、（ ）にて当主在任期間を示した。

# 開催趣旨

加賀前田家は、初代・前田利家が北陸に領地を得て以来、金沢を本拠に、江戸時代を通じて加賀・越中・能登の三か国、百万石以上の規模を誇る大名家として、明治維新に至るまで領国統治を行ないました。近代に入って東京に本拠を移し侯爵となった後も、前田家伝来の文化財の保全に努め、16代・利為は、大正15年(1926)に育徳財団（現在の前田育徳会）を設立しました。

令和8年(2026)、前田育徳会は創立百周年を迎えます。これを記念して、加賀前田家歴代当主の事績を振り返るとともに、旧蔵品を含めた加賀前田家伝来品の数々を紹介いたします。

前田育徳会収蔵品の大規模な展覧会は、東京では半世紀以上も開かれておらず、その意味でも本展は貴重な機会となります。百万石の城下で花開いた技術と造形、知識と思想を通じて、今に続く加賀文化の美の真髄に迫ります。

# みどころ

- 加賀前田家初代・利家をはじめとする歴代当主の甲冑や陣羽織がお出迎え。百万石の「御細工所」で詠えた武具の粋を体感いただきます。
- 「天下の書府」と評された圧倒的な蔵書、工芸標本「百工比照」など、突出した石高を背景とする多彩な文化事業の成果が展開します。
- 古筆や名画、舶来品など驚くべき蒐集品、伝世の名刀、名物茶道具が勢揃い。前田家だからこそ集まった希代の名物をまとめて味わう贅沢な空間です。
- 明治時代、旧前田家本邸洋館を飾った圧巻のコレクションも注目です。大藩の威光を引き継いだ侯爵前田家の活動と、前田育徳会設立につながる歴史を紹介いたします。
- 旧蔵品も含めた加賀前田家伝来品の数々を、東京では60年ぶりに公開いたします。

# 前田育徳会とは

前田育徳会は、加賀前田家伝来の文化財を保存・公開する公益法人として、大正15年(1926)2月26日、加賀前田家16代当主・前田利為により設立されました。その3年前に発生した関東大震災の惨状をみて、前田家伝来の文化財を保存し後世に伝えていくため、財団の設立が計画されたのです。

当初は、前田家が所蔵する古典籍の複製刊行を主な目的にしていたのですが、その後前田家より所蔵品の寄贈を受け、収蔵品の保存と公開を目的とする財団法人となりました。平成24年(2012)4月1日に、公益財団法人への移行認定を受け、現在に至っています。

令和8年(2026)、前田育徳会は創立百周年を迎えます。



前田育徳会

利為が図書閲覧所として建てたもので、昭和3年(1928)に竣工しました。平成25年(2013)に国の重要文化財に指定されました。



○第1章 加賀前田家歴代

○第2章 百万石の文化大名

○第3章 加賀前田家の武と茶の湯

○第4章 天下の書府

○第5章 侯爵前田家のコレクション

前期展示：4月14日(火)～5月10日(日) 後期展示：5月12日(火)～6月7日(日)

※ 展示期間に記載のないものは通期展示。会期中、一部作品の展示替えを行います。上記日程以外にも展示替えがございます。

第1章 加賀前田家歴代

加賀前田家は、江戸時代、最大規模の石高を誇る大名家として、徳川一門との関係を重視しつつ領国統治に努め、14代にわたり家名を繋ぎました。本章では、初代・前田利家ゆかりの品々と、歴代当主が身にまとった甲冑と陣羽織を通して、加賀前田家の歴史と血脈を紹介いたします。



陣羽織とは、戦陣で武将が甲冑の上に着用した羽織です。本品は前田利家が着用したと伝わるもので、背面には魔除けの力をもつとされる鍾馗が大きく描かれています。本展が修理後の初公開となります。

**重要文化財 金小札白糸素懸威胴丸具足 前田利家所用**  
安土桃山時代・16世紀 前田育徳会蔵

前田利家が着用したと伝わる甲冑です。全体が金箔で飾られた華やかな色彩と、高さ約80cmにもなる熨斗烏帽子形の変わり兜が、とくに目を引きます。天正12年(1584)の佐々成政との合戦(末森城の戦い)で活躍した奥村永福に、利家から褒美として与えられたと伝えられ、のちに奥村家から5代当主・綱紀に献上され、加賀前田家の重宝となりました。

**重要文化財 陣羽織 淡茶絨地菊鍾馗図**  
安土桃山時代・16世紀 前田育徳会蔵



**銀箔押鯨尾形兜「鯨之尾御兜」**  
江戸時代・17世紀 前田育徳会蔵

前田利長所用

第2章 百万石の文化大名

江戸時代、太平の世へと移りゆくなかで、百万石を超える突出した石高を擁する加賀前田家は、その豊富な財力から文化大名として飛躍していきます。3代・利常は貴重な書画や舶来の文物を精力的に蒐集し、京都から名工を招いて武具や調度の工房「御細工所」を充実させます。その蒐集にかかる情熱は、やがて5代・綱紀の時代に頂点を迎えることになります。



**重要文化財 荏柄天神縁起 巻上(部分)**  
鎌倉時代・元応元年(1319) 前田育徳会蔵 前期展示  
天神として広く信仰を集めた菅原道真の生涯と、北野天満宮(現京都市)の由来などを描いた絵巻です。加賀前田家は歴代当主が篤い天神信仰をもち、本作は5代当主・綱紀の頃に前田家の所蔵となりました。綱紀は、道真が編纂した歴史書『類聚国史』、漢詩文集『菅家文草』など、菅家関係の書画を多く集めています。

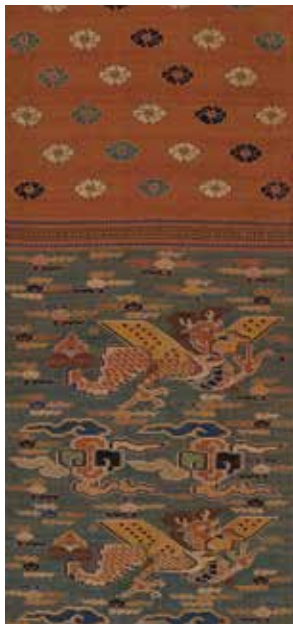


**重要文化財 アエネアス物語図毛綴壁掛**  
ベルギー・16～17世紀 前田育徳会蔵

ベルギー・ブリュッセルにて製作されたタペストリーです。画題は、トロイの戦士アエネアスがカルタゴの女王ディドに会う場面と伝わり、17世紀初めに日本に輸入され、その後前田家に入ったものです。ほぼ製作当時の糸や色彩を保持しており、世界的にもたいへん貴重なタペストリーです。

第3章 加賀前田家の武と茶の湯

加賀前田家の武と美は、刀剣と茶道具にも象徴されています。「名物」と称される名品をはじめ、旧蔵の名品も再結集させ、その全体像を紹介いたします。「名物」揃いの展示空間もお楽しみください。



**赤紫浅葱段正繫牡丹散らしに飛雲応龍文様錦**  
明時代・16～17世紀 前田育徳会蔵 前期展示

有栖川裂

加賀前田家に伝わる名刀の一つです。作者の吉光は京・粟田口派の名工で、通称を藤四郎といい、短刀を得意としました。本品は代表作の一つで、青黒い精美な地鉄と白く冴えた直刃の刃文が見所です。



**名物 大井戸茶碗 福嶋井戸**  
朝鮮時代・16世紀 前田育徳会蔵



**重要文化財 大名物 唐物茄子茶入 銘 富士**  
南宋時代・13世紀 前田育徳会蔵

足利將軍家から織田信長を経て豊臣秀吉へ伝わり、慶長2年(1597)に前田利家へと下賜された茶入。加賀前田家にとって特別な位置にある道具であり、寛永6年(1629)には徳川秀忠、家光による藩邸御成の場面を飾りました。四季の花を彫る見事な「内赤盆」に乗る姿は、まさに「天下の名物」と呼ぶにふさわしい風格を湛えています。



**国宝 太刀 銘 光世作(名物 大典太)** 平安時代・12世紀 前田育徳会蔵

「天下五剣」の一つとされる名刀で、数ある加賀前田家の刀剣の中でも筆頭に挙げられます。足利將軍家の伝来品で、豊臣秀吉から前田利家が譲り受けたという由緒が、刀剣鑑定の権威・本阿弥家がまとめた『享保名物帳』に記されています。作者の光世は筑後国三池(福岡県大牟田市)の名工で、三池典太ともいわれます。現存作はわずかで、本品はその最高傑作といえます。



## 第4章 天下の書府

3代・利常の文化事業は、孫の5代・綱紀に引き継がれました。綱紀が蒐集した典籍の豊富さはとくに注目され、その圧倒的な蔵書は「天下の書府」と評されたほどです。本章では、綱紀が自ら整理分類し命名した工芸標本「百工比照」、さらに綱紀が礎を築いた「加賀宝生」の能面や能装束などもあわせ、加賀前田家の知と美の世界を紹介いたします。



※後期中、場面替えを予定しています。

松唐草葵紋散蒔絵婚礼調度 溶姫所用  
江戸時代・19世紀 前田育徳会蔵



国宝 宝積経要品(部分) 足利尊氏・直義・夢窓疎石合筆  
南北朝時代・康永3年(1344) 前田育徳会蔵 後期展示

足利尊氏・足利直義・夢窓疎石が『大宝積経』の主要部分を書写し、高野山金剛三昧院に納めたものです。裏面は当代一流の政治家や歌人が自ら筆写した和歌短冊120枚を継ぎ合わせてあり、それを折本に仕立て、その表面に尊氏ら3人が経文を書写しています。綱紀が金剛三昧院に多額の寄付をして入手しました。

重要文化財 百工比照  
第三号箱第六架 釘隠引手等金具 第二重  
江戸時代・17～18世紀 前田育徳会蔵



綱紀による、工芸を対象とした実物資料および技術見本集。全10箱のうち、第三号箱は3代・利常時代の引手金具等を保存しています。優美な意匠と緻密な金工技術が凝縮した、寛永文化の華やかな香りを伝える一群です。当時の工芸水準や室内装飾の様相など多彩な情報を伝えており、これらは加賀前田家を代表する一大文化事業といえるでしょう。

## 第5章 侯爵前田家のコレクション

近代以降、加賀前田家は本拠を金沢から東京に移し、侯爵家へと転身します。16代・利為は5代・綱紀の偉業にならい、美術工芸品の蒐集や伝来品の整理に努めました。そして前田家伝来品を確実に後世へ存続させるべく、大正15年(1926)に育徳財団(現在の前田育徳会)を創立しました。本章では、利為蒐集品を紹介するとともに、東京・駒場にある旧前田家本邸洋館の室内に飾られていた品々を展示いたします。



シロクマ フランソワ・ボンボン作  
フランス・1930年 前田育徳会蔵

フランスの彫刻家フランソワ・ボンボンの作品2点。利為が日本大使館付武官としてヨーロッパに滞在中、美術館でボンボンの彫刻を見て気に入り、昭和5年(1930)にアトリエを訪れて直接注文したものです。帰国後、シロクマは旧前田家本邸洋館1階の大客室の窓際に飾られました。

バン フランソワ・ボンボン作  
フランス・1930年 前田育徳会蔵

オートグラフ バッハ楽譜  
ヨハン＝セバスティアン・バッハ著  
1743～1746年 前田育徳会蔵  
5/12(火)～5/24(日)展示



ドイツの作曲家バッハによる「ルカ受難曲」(BMW246)第40曲・コラール「深き淵より」の自筆楽譜。楽曲はバッハ自身の作ではなく、彼が1743年から46年の間に編曲したもので、利為が昭和4年(1929)にベルリンで購入したものです。

## 「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボビジュアルを公開！

本展に、「国宝 太刀 銘光世作(名物 大典太)」、「重要文化財 短刀 銘吉光(名物 前田藤四郎)」、「国宝 刀 無銘義弘(名物 富田江)」(いずれも前田育徳会蔵)が展示されることを記念して、「刀剣乱舞ONLINE」の刀剣勇士「大典太光世」、「前田藤四郎」、「富田江」3振とのコラボが決定しました。特別企画としてパネル展示や、企画チケットの販売、グッズ販売も予定しております。



## 音声ガイドナビゲーターは、浪川大輔さんと入江玲於奈さん！

人気声優の浪川大輔さん、入江玲於奈さんが、前田家の歴史をひも解き、茶道具に書画、武具から繊細な工芸品まで、いまに伝わる驚異のコレクションをご案内します。※「刀剣乱舞ONLINE」のキャラクターボイスはございません。



＜メインナビゲーター：浪川大輔さん＞

〔プロフィール〕

声優、ナレーター、俳優。東京都出身。幼少期から子役として活動し、アニメや洋画の吹替などで活躍。主な出演作は、「ルパン三世 シリーズ」石川五門役、「スター・ウォーズ シリーズ」アナキン・スカイウォーカー役、「A-Studio+」ナレーションなど。ゲーム「刀剣乱舞ONLINE」では大典太光世役を務める。歌手としても単独ライブを行なうなど、活動の幅を広げている。



＜ゲストナビゲーター：入江玲於奈さん＞

〔プロフィール〕

声優、ナレーター。神奈川県出身。平成24年(2012)より声優デビュー。アニメやゲーム、ラジオなどで活躍。主な出演作は、Eテレ「おかあさんといっしょ」人形劇『ファンターネ』ルチータ役、「白猫プロジェクト」ヨシオ・ガーデンリーヴス役など。ゲーム「刀剣乱舞ONLINE」では、前田藤四郎役を務める。エンターテインメント集団「大井町クリームソーダ」としても舞台脚本を担当し、定期的に公演を行なうなど、活動の幅を広げている。



# 前田育徳会 創立百周年記念 特別展 百万石!加賀前田家

## 広報アンバサダーに俳優の大東駿介さん・菅井友香さんが就任!

本展の広報アンバサダーは、2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)で前田利家役を演じる俳優の大東駿介さんと、妻のまつ役を演じる俳優の菅井友香さんに決定しました!

大東さんには報道発表会にゲストとして登場いただくほか、今後も菅井さんとともに、本展の魅力を伝えていただきます!



### 大東駿介さんからのメッセージ

大河ドラマ「豊臣兄弟!」で前田利家を演じさせていただきます大東駿介です。

利家公、前田家について調べていくなかで、今に続く美しい加賀伝統文化の背景には、美や芸術文化を大切にしてきた前田家の存在の大きさを知りました。

東京での大規模な展覧会は60年ぶりとなるこの貴重な機会に、前田家が守り抜いてきた「加賀前田家伝来」文化財の数々を是非ご体感いただければと思います。



### 菅井友香さんからのメッセージ

大河ドラマ「豊臣兄弟!」でまつを演じさせていただきご縁から、前田家の皆さまが長い年月をかけて大切にされてきたものや、そこに生きた方々の想いに触れる機会をいただき、日々心打たれております。本展は、普段はなかなか目にすることのできない、貴重な出会いに溢れていると思います。

歴史に詳しい方も、初めて触れる方にとっても、きっと心に残る時間になるはずです。私も前田家の歴史や美意識に触れられる時間を今からとても楽しみにしております。

ぜひ東京国立博物館で、特別な時間を味わっていただけたら嬉しいです。

#### 大東駿介さん プロフィール

1986年3月13日生まれ、大阪府堺市出身。2005年俳優デビュー。近年の主な出演作にドラマ『シバのおきて〜われら犬バカ編集部〜』(NHK)、『あのクズを殴ってやりたいんだ』(TBS)、『仮想儀礼』(NHK)、映画『岸辺露伴は動かない 懺悔室』(25)、『劇場版アナウンサーたちの戦争』(24)など。現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)では前田利家役を演じている。

#### 菅井友香さん プロフィール

東京都生まれ。樺坂46・櫻坂46の初代キャプテン。幼少期より馬術を習う。2022年11月にグループから卒業。舞台やミュージカル、ドラマなど活躍の幅を広げている。主な出演作品に、テレビドラマ「チェイサーゲームW」シリーズ、「ビジネス婚ー好きになったら離婚しますー」(ともにW主演)、「わたしの好きな人は、」、「幸せカナコの殺し屋生活」、「ロンダリング」、「ミッシングトレイン」、映画「怪獣ヤロウ!」、「女神降臨」など。大河ドラマ「豊臣兄弟!」(NHK)では、まつ役を演じている。最新写真集「たびすかい」が2月14日発売予定。